

輸出入貨物の取扱量拡大を目指す



## ネクスト

会社創業から7年目を迎えたネクスト(岩村大樹社長、北海道北広島市)は、安全性及びサービスの向上、更には

コンプライアンス(法令順守)の徹底に取り組んでいる。

設立は2006年で、長距離フェリーを利用した生鮮食品や工業製品などのトレーラ輸送をメインに北海道から関東・関西・九州間、更に道内、本州内の地域配送も行う。保有車両は低床・高床ウイン

## 高付加価値輸送を実現

グ、GPS(全地球測位システム)機能付冷凍・冷蔵車など160両。豊富なバリエーションをそろえるとともに全国ネットワークを構築し、高品質・高付加価値輸送を提供している。

また、北海道本社と苫小牧営業所、関東支店で08年に安全優良事業所認定(Gマーク)、10年にグリーン経営認証を取得。年4回実施する全員参加の安全会議やデジタルタコグラフを活用したエコドライブの徹底に努めている。更に燃費向上、タイヤ摩耗軽

# 全国ネット構築 ■ 取扱貨物の多様化図る

昨年の関越自動車道で起こった高速ツアーバス事故を契機に運送事業の安全対策、労務管理、コンプライアンス(法令順守)に対しての「評価」は一層厳しくなった。アベノミクスの影響により景気回復への期待感が高まる一方、円安のありを受け、トラック運送事業者の生命線である軽油価格が高騰。更に行政処分の厳罰化が予想される中、荷主、社会からは高い安全性を求められる。特に北海道においては、本州より長い都市間輸送距離や本州への輸送をフェリーに頼らざるを得ない状況だが、高い安全性を確保しながら、信頼を勝ち得て成長を続ける企業に焦点を当ててみた。

減にリフトアクセストレーラの導入を進めるとともに、全車新長期排ガス規制適合トラックを取りそろえるなど、ハード・ソフト両面から安全・環境対策を推進する。

今年度は、貨物を選ばないドア・ツー・ドアの輸送サービス提供を視野に、親会社の国際総合物流企業、三協(藤木幸三社長、横浜市中区)と全国の協力会社との連携を強化。取扱貨物の多様化に対応するとともに輸出入貨物の取扱量の拡大を目指している。

岩村社長は「運送事業を取り巻く環境は変化し続けているが、安全が最大のサービスと位置付け、設立から必死に駆け抜けてきた。今後、安全とコンプライアンスは、より高度なものが求められる。黙っていても貨物が集まる時代ではない。荷主と社会からのニーズの変化に適応しながら、横断的な協力体制を構築し、気を抜くこと無く事業拡大を図っていく」と力を込める。(北原 進之輔)



## お客様の安心と共に 高品質輸送を実現します

- 北海道⇄関東・関西・九州間をメインに全国ネットワーク体制を整えております
- 冷凍・冷蔵車を含める多種多様なトレーラ160台で幅広い貨物に対応いたします
- 安全優良事業所認定、グリーン経営認証を取得  
安全運行の徹底とともに地球に優しい企業を目指します



株式会社 **ネクスト**

〒061-1274 北海道北広島市大曲工業団地5丁目3番地2  
TEL:011-370-5150 FAX:011-376-4414  
<http://www.n-ex-t.co.jp>

<お問い合わせ窓口> 北海道地区 TEL:011-370-5250 関東地区 TEL:029-264-9131  
関西地区 TEL:06-6541-7356 九州地区 TEL:092-632-1130